

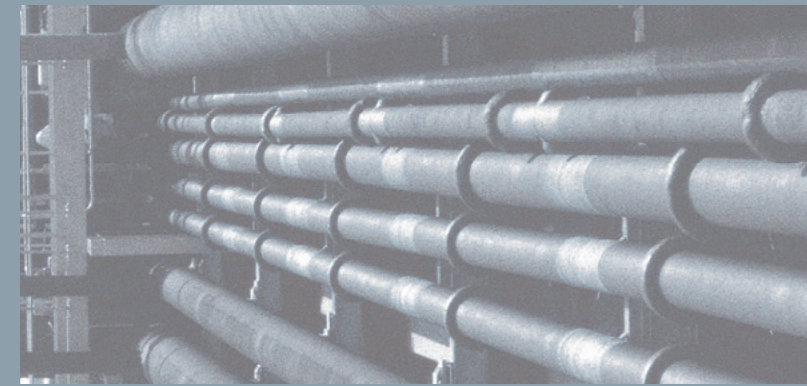
屋外防食テープ ニトハルマック™ XGシリーズ 関連材料一覧表

区分	機能	品名・品番	仕様・規格	標準使用量	特長・用途
主材料	防食テープ	ニトハルマック™ XG	厚さ×幅×長さ×入り数/箱 1.1mm×50mm×10m×24巻/CS 1.1mm×100mm×10m×12巻/CS 1.1mm×150mm×10m×8巻/CS 1.1mm×200mm×10m×6巻/CS 1.1mm×300mm×10m×4巻/CS	—	●屋外の鋼構造物用防食テープ ●酸化重合により皮膜を形成 ●変位追従性、耐候性にすぐれる ●消防危-第57号の難燃性基準に適合
補助材料	下塗り材	ニトハルマック™ XG-P (ナデール)	重さ×入り数/箱 4kg×2缶/CS	300g/m ²	●鋼面用に防錆効果のある下塗り材 ●テープの接着性を向上させる効果あり
		ニトプライマーAF	重さ×入り数/箱 1kg×10缶/CS	200g/m ² (2回塗り)	●コンクリートやモルタル面に使用する下塗り材 ●コンクリートからのアルカリ分の流出防止 ●タックがなくなってから、テープ施工のこと
	上塗り材	ニトハルマック™ XG-M	重さ×入り数/箱 2kg×10個/CS 厚さ×幅×長さ 25mm×250mm/200mm/1個	—	●フランジなど異形部用 ●白色で粘土状 ●消防危-第57号の難燃性基準に適合
		ニトハルマック™ XG-T	重さ×入り数/箱 4kg×2缶/CS	300g/m ²	●屋外防食テープの上に塗布する上塗り材 ●短時間で皮膜を形成し、ホコリなどの付着を防止 ●テープの防食性・耐候性を高める効果あり ●水性塗料の為、0℃以下になると凍結する可能性があります。保管にはご注意ください。

Nitto

Innovation for Customers

酸化重合型屋外防食テープ ニトハルマック™ XGシリーズ



- ・本製品を品質保証、製造している当社豊橋事業所は環境マネジメントシステムISO14001の登録工場です。
- ・本製品は、ISO-9001 (JQA-0454, BSI-FM-28540)の認証を取得した当社豊橋事業所にて品質保証、製造しています。
- ・「ニトハルマック/NITOHULLMAC」は日東電工株式会社の登録商標です。
- ・このカタログの内容は、2022年11月現在のものです。
- ・お問い合わせは…工業材テクニカルサポートセンター TFOX TEL.0532-41-7838



注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

日東電工株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1丁目2番70号 品川シーズンテラス26F
TEL: 03-6632-2101 FAX: 03-6632-2025 <https://www.nitto.com/jp/ja/>
カタログコード: 11202 2022年11月発行

9001F30 ©
1912R10 ©
2211R05

貼る「重防食塗料」！ 簡単・確実な屋外防食テープ ニトハルマック™ XGシリーズ

風雨にさらされ、直射日光を浴び続ける屋外の鋼構造物。安全性確保や資源節約のためには、サビ対策が欠かせません。なかでも、ウォーターフロントのコンビナートや発電所などでは、潮風によるさらに厳しい状況のため、パイプ、架台などの防食が重要な課題となっています。こうした問題を解決するのがNittoの屋外防食テープ“ニトハルマック™ XGシリーズ”です。

この防食テープは、特殊配合乾性油を主成分としたコンパウンドをプラスチック系不織布に含浸させたもので、酸化重合により表面に皮膜を形成し、すぐれた防食性と耐候性を発揮します。また、柔軟性に富んでいるため、貼ってなでつけるだけで、どんな形状の場所にもぴったり密着。まさに“貼る重防食塗料”といえます。Nittoでは、このほかにも独自の高分子合成技術とその応用技術によって数々の防食材料を開発し、さまざまな防食ニーズにお応えしています。

一般特性

項目	単位	ニトハルマック™ XG	試験方法
厚さ	mm	1.1	JIS Z 1902
重さ	kg/m ²	1.7	—
引張強さ	N/25mm	85	JIS Z 1902
伸び	%	14	JIS Z 1902
吸水率	%	0.5	24h水浸漬
絶縁抵抗	Ω・m ²	3.0×10 ⁶	JIS Z 1902
体積抵抗率	Ω・cm	1.0×10 ¹¹	JIS K 6911
粘着力	N/25mm	24	JIS Z 1902
難燃性	—	合格	消防危-第57号
耐熱流下性	—	滴下なし	—
塩水噴霧	2,000h	錆発生なし	JIS Z 1902
耐候性	2,000h	錆発生なし	サンシャイン ウエザオメータ

※上記数値は測定値の一例であり、保証値ではありません。



簡単施工で、作業性が抜群です。

- 柔軟性に富んでいるため、複雑な形状にもぴったりフィットします。
- 施工法は、貼りつけや巻きつけたあとで、なでつけるだけ。特別な熟練を必要としない簡単施工です。
- 低・高温でのコンパウンドの粘度変化が少なく、夏でも冬でもテープ巻き作業性は変わりません。

すぐれた防食効果を発揮します。

- 密着力の良いコンパウンドが金属表面から水分と空気を遮断。施工後は、酸化重合硬化によってべとつきがなくなり、可とう性をもったテープ層を形成します。

難燃性です。

- 消防危-第57号の難燃性基準に適合しています。

塩水噴霧試験



施工手順

- | | | |
|--|-----|----------|
| | 異形部 | パイプ |
| ① 下地の清掃 | | |
| バリ、サビを落とし、ほこり、水、油を除去します。 | | |
| ② 下塗り材の塗布 | | |
| 下塗り材XG-P (ナデール)を均一に塗布します。 | | |
| ③ 充てん材の挿入 | | 必要に応じて施工 |
| 凹凸のある部分は充てん材XG-Mをつめて表面をなめらかにします。 | | |
| ④ テープ巻き | | |
| テープを少し引っ張り加減にハーフラップで巻きつけます。 | | |
| ⑤ テープなでつけ | | |
| テープ表面を手でなでつけ、十分に密着させます。
(※この作業が最も重要です。) | | |
| ⑥ 上塗り材の塗布 | | |
| 上塗り材XG-Tをハケやローラーバケで均一に塗布します。 | | |

使用上の注意

- 酸素にふれると酸化重合が始まりますので、一度開封したテープは使いきってください。
- テープは、冷暗所に保管してください。
- トップコートは5℃以上で塗布してください。
(低温時に風が吹くと、まれにひび割れることがあります。)
- 有機溶剤にふれる恐れのある個所には使用しないでください。

施工手順の詳細については「ニトハルマック™ XGシリーズ 施工要領書」およびNittoWeb「施工手順動画」をご参照ください。



施工例

